



古田学区 人口: 12,432人 世帯数: 5,382世帯(10月末現在) 古田学区社会福祉協議会 広報委員発行 発行責任者 西本幸男(☎299-5559)

### 子どもたちと一緒に「サツマイモ掘り体験」をしました

古江上1丁目町内会では、令和3年4月から広島市「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助事業の補助金を活用し、町内の空き地を活用し花壇づくりに取り組んでいます。

花壇の場所は広島学院教職員駐車場東側・古田中学校通学路里道そばで、活動内容は花木の植え付け、花がら摘みなどの花の手入れ、維持管理(水やり、除草、清掃など)です。

イベントとして、お花見会、園芸指導、町内の子もたちと一緒にサツマイモ掘り体験、栗拾い、チューリップの球根植え付けなどを行っています。

10月3日、晴天の秋空の下、地域住民、ボランティア、子どもたち48名が



集い、子どもたちに収穫の喜びを知ってもらおうとサツマイモ掘り体験、チューリップの球根の植え付けなどを行いました。子どもたちは軍手をはめて、土の中に埋まっているサツマイモを折れないように丁寧に掘り出し、「なんと金時」「べにはるか」という品種の収穫を行いました。

また、春には子どもたちと一緒にチューリップの観賞会を予定しています。

現在、花壇のボランティアを募集しています。お花が好きな方、緑が好きなお方、土に触れたい方、一緒に花壇を作りませんか。参加してみたいという方はお気軽に左記までご連絡下さい。

『問い合わせ先』  
古江上1丁目町内会  
会長 中川 憲昭  
(082) 272-9595

### 散乱ごみ追放キャンペーン (クリーンボランティア支援事業)



草むらに隠れている散乱ごみを探し出す

古田学区公衆衛生協議会が、地域の美化にかかわる自主的な取り組みとして実施しました。

11月20日(土)9時、古江2号トンネル北側階段付近に集合し古江2号トンネルを起点に東西側道の清掃を行いました。約1時間の清掃活動でしたが、草むらの中から空き缶、ペットボトル、空ビン、運動靴、ホイール、壺、割れた鏡などが出てきました。集合場所でごみの分別をして解散となりました。



走行車両に気を配りながらのごみ拾い

献血にご協力ありがとうございました。

掲示板・回覧板に加え、10月25日に古江の電停前で献血PRの為にチラシを配りました。企業を回って「協力」を依頼しました。

11月8日(月)9時から12時まで古田公民館で実施。26名の方が足を運ばれましたが、献血出来た方は20名でした。

昨年はコロナ禍の影響で、献血会場は、献血ルーム「ピース」(もみじ)でした。

## 『地区社協活動拠点活性化支援事業』

### 古田学区社会福祉協議会で開始

地区社協活動拠点へ常駐スタッフを配置することで、「活動拠点を活性化させ、住民同士がつながりあい、住民の主体的な活動を広げ、様々な課題を解決していきけるまちづくりを目指していくこと」を目的に、令和2年度創設された事業で、今年度、古田学区社協をはじめ3社協(古田、南観音、井口)が認定されました。

古田学区社協では、4月12日(月)より左記要領にて事業を開始しておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

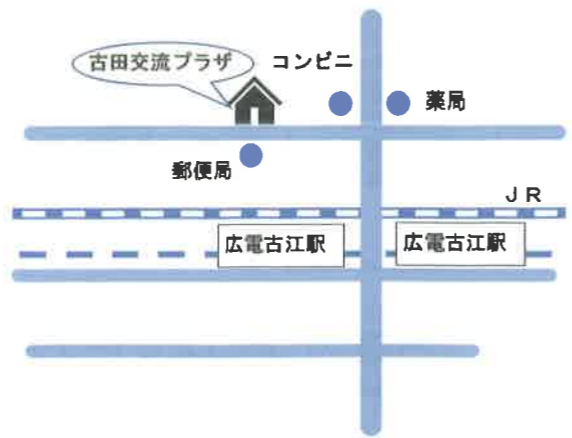
- ◆活動拠点 古田交流プラザ  
古江西町3-5  
2009-5559
- ◆開設日 月～金曜日  
(火曜日を除く)
- ◆開設時間 10時～12時  
※祝日・振替休日、盆・年末年始は休み その他急遽休む場合もありますがお承ください。

上記の曜日・時間に古田学区社会福祉協議会のスタッフが、気軽に相談・交流できる場を目指して活動していきます。

〈4月から10月までの活動状況〉  
開設日数は、計117日、来所者数、計171名、電話対応件数、計16件、相談件数、計13件でした。



古田交流プラザ 郵便局の向かい側です



- ◆実施事項(主な事項)
  - ・地域住民の皆様との交流及び困り事のキャッチ
  - ・困り事の解決に向けた地域の関係団体との連絡調整及び関係機関へのつなぎ
  - ・地区社協事務の効率化 等々

西区民だより8月1日号、西区社協だより「ふれあい」2021年10月第142号に地区社協活動拠点活性化支援事業についての記事が記載されています。



令和4年1月～3月の行事予定

とんど 田方 1月9日 田方第一公園  
古江 1月15日 古江新宮神社  
※詳しくは掲示板で  
節分豆まき 2月3日 古江新宮神社



※新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止となる場合があります。

令和3年度 中止となった主な行事

古田小学校区町民運動会  
田方 夏祭り  
古江 納涼夏祭り  
古田学区『第34回ふれあいひろば』  
秋祭り(田方・古江) 神楽・俵もみ  
古田公民館の「ふるた遊・友フェスタ」



11月6日(土)、「いちじく食堂」の活動に共感された匿名の方からの寄付がありました。今後の活動に役立たせていただきます。どうもありがとうございます。

コロナ感染者が減ってきた秋半ば、感染防止に配慮しながらサロンは、動き出しました。皆さんホッとされたようです。

「古田交流プラザ」は、学区内の地域の連帯感の高揚と福祉の増進につとめ、健全明朗な住みよい地域社会を確立するために、地域活動団体の交流の促進、情報交換や活動を支援することを目的としています。「古田交流プラザ」の団体利用は、原則として古田学区内の活動を中心とした団体(地域を中心とした団体)とします。

『古田交流プラザ』って  
どんなところ？  
古田学区各種団体の交流の場・地域の活動拠点として平成20年4月1日、「古田交流プラザ」は開設しました。古江郵便局の向かい側という利便性の良い場所です。

「ふれあいサロン」

コロナウイルス感染拡大防止の為に緊急事態宣言で、サロンの活動ができないうちが、自粛生活の影響だったり、サロンを楽しむにしている方からは、  
・サロンで体操をしないので足が上がりなくなってきた。  
・人と会う機会が減って、気持ち落ち込む。  
などの声もありました。コロナ感染者が減ってきた秋半ば、感染防止に配慮しながらサロンは、動き出しました。皆さんホッとされたようです。

「近所麻雀サロン」に遊びに来ませんか!!

「近所麻雀サロン」は、「利用者やサロン世話人など、住民同士が顔を合わせ、なじみの関係を作っていく通いの場、関係づくりの場」として、広く地域の高齢者やその他の地域住民の誰もが参加でき、介護予防や地域住民同士の交流を深めることを目的に開催しています。

「賭けなご」「飲まなご」吸わないがモットーの健康麻雀

雀が認知症予防、地域の方々とのコミュニケーションがとれる、引きこもりがちな高齢者が社会に参加するきっかけになるなどで、女性の人気も高まり、今では全国的に大変盛んに親しまれています。実際に、当サロンに参加されている人たちからは、「おしゃべりしながら楽しめるのでストレス発散になる」「牌を待つドキドキ感、アガったときの達成感がたまらない」「短い

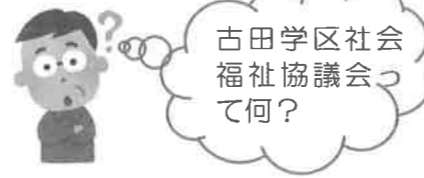


ゲーム時間のなかで多くの興奮や喜びを味わえる」といった声があがっています。

当サロンの会員数は、現在34名(男性20名、女性14名)で、開催は古江集会所で毎月第1、3土曜日の13時から16時です。

仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりのため健康麻雀を始めませんか。初心者の方も大歓迎です。参加してみたい、一度見学してみたいという方はお気軽に左記までご連絡ください。

「問い合わせ先」  
「近所麻雀サロン」  
代表 中川 憲昭  
(082)272-9595



古田学区社会福祉協議会って何？

地域の人びとが住み慣れたまちで安心して生活できるように、「福祉のまちづくり」の実現をめざして、さまざまな活動をおこなう組織です。下の図のように、地域のあらゆる組織が、つながっています。



古田学区社会福祉協議会の構成団体と組織図

